

## 報告文 業務表彰受賞について

平成30年度北海道開発局優良工事等（業務）表彰において、2業務の局長表彰の受賞ならびに3業務の部長表彰を受賞しました。日頃ご愛顧いただいております関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 局長賞

『北村遊水地付替道路外検討業務（札幌開発建設部）』

管理技術者 石川 由憲

『一般国道40号 稚内市 中央電線共同溝詳細設計業務（稚内開発建設部）』

管理技術者 加藤 和明

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 部長賞

『一般国道12号 美唄市 峰延道路実施設計外一連業務（札幌開発建設部）』

管理技術者 宮古 智

『釧路川堤防質的強化外検討業務（釧路開発建設部）』

管理技術者 鈴木 智之

『一般国道39号 北見市 イトムカ橋拡幅設計業務（網走開発建設部）』

管理技術者 青地 知也

## 編集後記

毎年、この「編集後記」は全国各地で発生した「災害」のことから書き出してきましたが、結果としては、今年もまた「胆振東部地震」と「西日本豪雨」からになってしまいました。

平成30年9月6日未明（3時8分）、胆振東部で震度7の巨大地震が発生しました。震源地に近い厚真町北東部では、山塊の崩落により尊い36名の命が失われました。心より、哀悼の意を表します。また、地震により被災された多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。さらに、平成30年6月28日から7月8日にかけての台風7号及び梅雨前線による「西日本豪雨」は、中国・四国地方を中心に甚大な被害をもたらしました。人的被害としては死者220名、行方不明者10名に及ぶ大災害となりました。

ここ数年、全国各地で集中豪雨や地震による大災害が頻発しています。とくに、今回の大地震では2日に及ぶ大停電があり、道民生活が脅かされる事態となりました。災害は「忘れた頃にやってくる」が、今や「忘れる前にやってくる」状況。今、「備えあれば憂いなし」の暮らしが求められています。

さて、弊社は平成5年に測量会社から建設コンサルタントへと再構築し、今年25周年の節目を迎えました。再構築時の社員数は29名、売上高は約6億円でしたが、現在は社員数153名、売上高約20億円の企業へと成長しました。

平成5年、再構築時の阿部洋七郎社長は、社章の制定にあたり「社員一人ひとりが愛社精神をもち、立派な技術者集団として大成する」ことを願い、社名の頭文字「K」の縦のラインの青は水、斜めの緑は橋梁、道路、右下のオレンジは大地と技術者集団を表わしたものです。再構築時の、社員の熱意と思いが伝わってきます。

そして、本年6月、北海道の明るい未来を創造する企業となるため、新たに「経営戦略」を定めました。経営理念として「人・技術・信頼を第一に、北の大地の豊かな社会づくりに挑戦する」とし、経営理念を実現するための「経営方針」として「変化の時代に適応できる企業へ」、「確かな技術と信頼に裏づけられた課題解決」、「人材育成と明るく活力のある社内環境の創造」と、3つの柱を据えたところです。弊社は、刻々と変化する時代に「未来創造企業」としての第一歩を踏み出しました。

結びになりますが、弊社「NOTE KAIHATSU KOEI」は本年度第26号を発行する運びとなりました。

改めて「20周年記念誌」の資料をひも解いてみると、再構築から営々と歴史を積み上げてきたことが分かります。これも一重に、発注機関関係者様のご理解とご協力のお蔭であり、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

（取締役・社内技術士会会長 野々村清隆）